

## ゆとりですが なにか

これ、日テレのドラマの題名です。特に番宣を行うつもりもありません。恐らくこのドラマの題名は、「ゆとり教育を受けた世代、まだ若いんだけど」と言う程度のネーミングだと思います。

### ゆとり教育とは

「ゆとり」教育と聞いて「どんなかなー」と考えてしまう世代の為に整理してみました。

ゆとり教育が必要だとされたのは、学級崩壊、校内暴力が社会問題になった時代のこと、学校教育が詰め込みで、教育内容についていけないいわゆる落ちこぼれが多くなり、いじめや暴力が横行した、また、教師も授業の準備に追われ、生徒の生活指導まで行う時間的余裕が無かったことが背景にあったように記憶しています。

そこで、詰め込み教育を廃し、全人教育を行おうとしました。学校の週休 2 日制導入、授業時間短縮、総合学習の導入、円周率 3 への変更です。その意図や良しでしたが、OECD が行う世界共通学力テスト「PISA」等において日本の生徒の学力ランキングがトップクラスから、中堅位までに落ちてしまいました。PISA のテストが読解力、考える力を重視したテストだという謳い文句だったこともあって、ランキング低下を重大視した政府は、ゆとり教育を諦め元に戻したところ、無事にランキングは上昇したという次第です。

### ゆとり世代の評価

この教育を受けた世代は、1987 年～1995 年に生まれた青年が該当します。平成生まれの 20 歳台と言うことになります。ともかく、若いのです。

ゆとり教育以前の教育を受けた円周率 3.14 の世代は、ゆとり世代を好奇の目で見ているのかもしれませんが、個人的には詰め込み教育の知識の量や、小中学生の学力テストの結果など大した問題ではないと考えています。

未だにいじめによる自殺など痛ましい件が起きていますが、ゆとり教育導入前と比べれば、校内暴力等も大幅に減少したと思います。

何より、テニス、野球、競泳、スケート、機械体操、卓球等々、スポーツの分野でも世界レベルで活躍するこの世代の選手が増えてきています。

実業界、アカデミアの世界におけるこの世代の評価は、10 年、20 年先になりますが、ゆとり教育で身に付けた考える力を発揮、冷静に日本の失われた 20 年を分析し、日本の閉塞状況を打破してくれるのではないかと期待しています。

### 若年層の育成・活用

これからのものづくり産業の業績を左右するのは、如何に安く大量に作るかではなく、顧客が望む商品をいち早く、鮮やかに提供することだと断言できます。

その様な商品の創出には「記憶力」ではなく、「考える力」、「行動する力」が必要です。職場の若い世代をのばすには「こんなことも知らないのか」とバカにするのではなく、前向きな発言や行動があれば、ともかく真剣に最後まで聞いてあげる度量が必要です。